

『風と花』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。

高校生の学習成果発表会特集 第1弾 ～高校生の情熱満載！～

都留高校ほか&岡島「県内高校生による探究発表交流会」

○日 時 12月26日(木)～27日(金) 12:00～14:30

○場 所 岡島 地下1階 催事場

○参加校 都留高校(5グループ) 笛吹高校(5グループ) 甲府西(15人)

○内 容

・都留、笛吹、甲府西の3つの高校の生徒が、探究活動を発表する交流会で、県内で初めて開催されました。

・都留高校は1・2年生合同で行っているグループ探究活動である「つる探」、笛吹高校は地域の課題解決に取り組んだ「FFグローバル」、甲府西高校は、総合的な探究の時間で行った「個人研究」の研究成果をそれぞれ発表しました。

・発起人である都留高校の松田教諭は、「今までこのような交流会がなかった。高校生が研究成果の発表を通じて、人として成長し、各自の研究をより深めることにつなげてほしい」と話していました。

○感 想

「自分たちの研究目標の達成(生理について理解してもらう)のために、多くの人々に話を聞いてもらうことがとても大切なので、すごく良い機会となりました」「他校の生徒さんならではの視点でのアドバイスがすごく参考になりました。今後の研究に役立てていきたいです」

○都留高校の参加グループ

①総合ゼミ「生理」グループ

②総合ゼミ「私たちにできること～POSTMAN PROJECTを通して～」グループ

③数学ゼミ「字の美しさを数値化する」グループ

④保体ゼミ「未来の笑顔、救命活動！」グループ

⑤Social Analysis(ソーシャルアナリシス)「富士河口湖町における持続可能な観光のための提言」グループ

学校の垣根を越え、さらに学校外で開催されたため、参加した高校生

にとって貴重な経験ができた素敵な交流発表会でした！場所を提供していただいた岡島さんありがとうございました！！



交流会の様子



降旗教育長もいらっしゃいました！



岡島社長の雨宮氏(右)の姿も、



他校の発表が良い刺激に！



一般の方も足を運んでくれました！



テレビ局の取材も入りました！



都留(左)と甲府西(右)の生徒さん 「大人の方への発表は緊張します！」



上野原高校「総合学科発表会」～地域に開かれた発表会～

○日 時 12月14日(土) 9:00 ～ 12:10

○場 所 上野原高校 体育館

○発表者

①体育館での代表発表

・1年次生(2名)、2年次生(2名)、3年次生発表3グループ(10名)

②体育館でのポスターセッション

・2年次生 代表発表生徒以外全員…14班54名

③各教室での課題研究分科会

・3年次生 代表発表生徒以外全員…9会場18班51名

○来校者数 中学生23・中学保護者12、高校保護者15、来賓19

○発表内容

①1年次「ドリームスピーチ」雑誌の編集、楽器のリペアマン

②2年次「課題探究」自分に合った職業、ノマドイノベーション

③3年次「課題研究」ダイラタンシ、地域包括ケアシステム、唾液の力

○感想

「どの発表も夢に向けて詳しく調べてまとめてあり、とても分かりやすかったです。」(中学生)

「最後の3年生の課題研究はどれも興味深かったですが、特に地域包括ケアについての研究で、互助について実際に社協の方にインタビューに行ったり、メンバーがお年寄りとの交流を体験してみたりし、そこからまた一歩進んで考えたことを発表していたのが非常に素晴らしいと感じました。」(来校者)

この発表会は、日々の学習や研究の成果を発表し、それまでの学習を振り返ることにより、次の学習及び生徒自身の成長に繋げること、また、上野原高校の取り組みやその成果を保護者や中学生など地域の方々に知っていただき、総合学校高校の学習への理解を深めてもらうことを目的として行われました。地域との一体感がある心温まる素敵な発表会でした！



1年生の代表による発表



2年生の代表による発表



ポスターセッションの様子



各教室での分科会の様子



多くの来賓の方が出席



多くの観客の前で発表！



みんな真剣に聴いています



パワボも見やすいように工夫

都留興譲館高校「教育実践公開発表会」～各科の特色を生かした発表会～

○日 時 2月1日(土) 13:00 ～ 15:20

○場 所 都留市「都の杜うぐいすホール 大ホール」

○発表者 普通科1年生…代表4名 その他…代表1グループ

○概 要

普通科1年	「私の未来、私の進路」をテーマにした進路探究	
普通科2年	修学旅行(沖縄)の旅程や事前事後学習などの報告	
英語理数科	小学生の効果的な英語授業の作り方に関する研究	
工業科	環境	高校生ものづくりコンテスト測量部門山梨県大会優勝へ向けての取り組み
	機械	ロボコン山梨優勝を目指して取り組んだチームの取り組み
	電子	スープリュームビジョン(反射神経養成装置)の製作に関する研究
	制御	ミニ四駆の速度アップと走行安定性の向上に関する研究



会場の外には各科の取組をまとめた展示がありました



大きな会場でも堂々とプレゼンをしている生徒のみなさん！



司会の進行も見事でした



パワボのクオリティに驚嘆！

○感想

「学年や各学科でどんな取り組みをしているかよく分かり高校選びの参考になりました。」（中学生）「初めて参加しましたが、都留興譲館高校の幅広い分野の学科について知ることができてとても良かったです。」（来賓）「今まで知らなかった各学科の活動を知ることが出来た。みんなすごい！」（高校生）「緊張したけど、自分の成長に繋げられる大切な時間だった。」（発表者）

たくさんの特色ある学科で構成される都留興譲館高校の魅力が随所にちりばめられた他にはない発表会でした。生徒にとっても、お互い知らなかった新たな一面を発見できたようです。この発表会を機に、ますます校内が活気づき、盛り上がること間違いなし！



自分たちの研究を聴衆に語り掛けるように発表していました！

吉田高校「富士山学 全体＆学年発表会」～地域愛溢れる発表会～

全体発表会(2年生)

○日 時 2月5日(水) 13:55 ～ 15:40 (オンライン配信)

○内 容 2年生の「富士山学」では2～6人1組となり地域課題に関する研究を行いました。事前の校内発表会を突破し、全体発表会に出場したグループのテーマは以下の通りです。

- ① 外国人や若者に、富士山以外の魅力を発信する
- ② クマによる被害をなくすために
- ③ 富士吉田市の隠れた魅力である「浅間神社」に関する研究
- ④ 外国人観光客がより充実した観光を楽しむためには
- ⑤ 富士吉田地域の食材を使った保存食の作成
- ⑥ 富士吉田市で自家用車以外の移動方法を普及させるためには
- ⑦ 「ハタオリマチ」を未来に紡ぐには
- ⑧ 富士吉田市の「食」を通して、垣根を超えた人との交流を創造する



大会議室から配信



カメラに向かって語りかけます



各教室で発表を聴く生徒



最優秀賞に選ばれたグループ

・コンテスト形式で行われ、市魅力推進課、市商工会青年部、栗井財団、権田校長を審査員として迎え、厳正な審査が行われました。全てのチームが甲乙つけがたい秀逸な発表を行いました。僅差で⑥「富士吉田市で自家用車以外の移動方法を普及させるためには」が最優秀賞に選ばれました。

学年発表会(1年生)

○日 時 2月12日(水) 13:50 ～ 15:40

○場 所 1年生の各教室

○内 容

・1年生の「富士山学」は2～4人1組となり、「織機修理の担い手不足を解消するためには」「本町通りを活性化させるためには」など、6分野の中から興味のある分野を選び研究テーマを設定し1年間研究活動を行いました。

・発表当日、1コマ目は研究を進めている6分野に分かれてグループ発表。地域課題の分析やその解決方法をまとめた「課題設定シート」を大型テレビに投影し行われました。

・2コマ目は、事前にシャッフルした6会場で2回目の発表。

1回目の発表で出た課題を改善したため、多くのグループでプレゼンの質が爆上がりしていました！

・発表を聴く生徒は、各グループの発表終了後、付箋に意見や質問、感想などを記入し、所定の用紙に貼りました。これらは振り返りに活用され、研究を深める貴重な資料となります。

富士山を中心に歴史や文化など様々な視点から地元富士吉田市について深く研究する富士山学。観光客の増加によりますます国際化する富士吉田市の未来を担う高校生たちの熱気あふれる刺激的な研究発表会でした！



各教室での発表の様子



こちらが「課題設定シート」



研究を深める貴重な質問や意見が



付箋を囲んで早速振り返り！さらに良い研究に進むための第1歩！

富士北稜高校「生徒発表会」～将来につながる探究学習～

○日 時 2月14日(金) 13:30 ～ 15:00

○場 所 オンライン(事前収録の映像)配信

○内 容 各系列・年次の代表者による発表でした。

建築デザイン系列『ものづくり&資格取得を目指そう!』…イスとテーブルの製作、建築CAD検定合格に向けての取組

電気情報系列『A Iカーを作ろう!』…大会参加を通してA Iカーについての知見を深め、自動走行技術の習得に成功

総合ビジネス系列『オリジナル炭酸飲料を作る!』…プロテイン炭酸飲料という斬新な商品と魅力的なCMの作成

機械テクノロジー系列『北稜戦隊キカレンジャー』…ロボコン優勝を目指した取組、銀スプーンの製作など

福祉健康系列『防災・減災の取り組み』…高齢者や障害者支援としてのチラシ作成やオリジナル自助具の開発など

教養系列『学校に貢献しよう!』…小学生への学習支援や地元の生地を使った卒業式のコサージュ作りなど

2年次『富士吉田市の観光問題について』…外国人観光客のマナーに関する考察やゴミ問題対策など

1年次『富士吉田市のふるさと納税と地域行事の考察』…地域活性化につなげるふるさと納税のあり方についてなど

富士北稜高校の専門性の高い学習と地域に根差した取り組みが大いに発揮された発表会でした。地元地域を支える貴重な人材として将来活躍する姿が目に見えます!!



生徒は各教室で視聴



プレゼン資料は教室に設置された大型テレビに投影されました

日本大学明誠高校「アカデミア明誠」～これぞ明誠高校!～

○日 時 2月18日(火) 13:30 ～ 17:00

○場 所 八王子市「J.COM ホール八王子」

○参加者 全校生徒約865名、保護者約52名

○内 容

・1年生は個人での探究活動であり、1～8組の代表+特別発表の計9名が発表を行いました。「なぜ男女の友情が成り立たないと思う人がいるのか?」や「なぜ全世界共通の言語ができないか?」など、個人的な興味や社会問題に関する問いに対する探究学習についての発表でした。

・2年生の探究発表は1～10組の各クラスが「カッコいい大人とは?」をテーマに、90秒の動画を作成し発表しました。探究で大事な“伝える”部分を動画作成で行った画期的な発表でした。

・1年1組の高橋くんによる「スローフード」をテーマにした英語でのスピーチが行われました。大観衆を前に流ちょうな英語で熱い想いを伝えたとても印象的な発表でした。

・新聞委員会による明誠年間ニュースでは、第3位新校舎完成、第2位新校舎初の文化祭、第1位部活動の大活躍が紹介され、会場は大いに盛り上がりました。

・3名の生徒によるビブリオバトルが行われ、5分という限られた時間の中で、イチオシの1冊を熱量たっぷりに紹介してくれました。日大明誠高校の魅力がたっぷり詰まった、とても心に残る素晴らしい発表会でした!!



会場の規模に圧倒されました!



生徒会長の阿部さんによる開会宣言



1年生の発表



1年生の発表者。みんな立派!



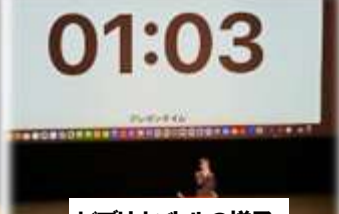
すべて生徒による手作りの動画!



高橋君の堂々とした英語スピーチ!



明誠年間ニュース!



ビブリオバトルの様子

大月市 ふるさと教育研究会～

○日 時 11月19日(火) 15:00 ～ 16:45
 ○場 所 七保小学校 「ななホール」
 ○主催者 大月市教育委員会
 ○参加者 大月市内の小中学校の先生方など33名
 ○内 容

- (1)基調提案 市教育委員会教育支援室 星野 徳一氏
- (2)実践発表

・七保小学校の野澤恵理香先生による発表。総合学習の授業で地域でのフィールドワークを実施。地域に目を向けるようになった、地域の人との挨拶が活発になったという児童の変容が伝えられました。

・大月東中学校では、大月を知る(1年)、山梨を知る(2年)、日本を知る(3年)をテーマにした探究学習を実施しました。生徒は、職場体験などを通じて生き方について多くのことを学びました。

- (3)グループディスカッション

「ふるさと教育の成果と課題」をテーマに議論を行い、各グループで出た意見を全体で共有。今後のふるさと教育について全員で課題を共有し閉会しました。

R7年度は11/28(金)に猿橋小で実施予定です。

ふるさとを大切に思う子どもをどう育てるかについて、大月愛たっぷりの活気漲る研修会でした！



研究会の様子



星野氏による基調提案



七保小学校の実践発表



活発な質疑応答！



グループディスカッションの様子

明日の風 アスリート実技講習会

○日 時 2月15日(土) 9:00 ～ 12:00
 ○場 所 大月市民総合体育館
 ○参加者 北都留地区の小学生42名
 ○種 目 30mダッシュ 立ち幅跳び 上体起こし
 5段跳び 反復横跳び

○内 容

・厳寒期であり、グラウンドの凍結もあることから例年2月は体育館で講習会が行われています。

・この日は42名の小学生が参加してくれたため、非常に活気溢れる賑やかな講習会となりました。

・今回からこのアスリート講習会に小学生の時に参加してくれたOBの高校生3名もコーチとして参加してくれました。教え子が指導者として戻ってきてくれることほど嬉しいことはありません！

○参加者の感想

「私は運動が苦手だけど、この講習会に毎回参加することで、少し速く走れるようになりました。来年もぜひ参加したいです！」(小学生)

「私も小学生の頃にこの講習会に参加して、そこで学んだことが中学や高校でとても役に立ちました。みなさんもぜひ頑張ってください！」(OBの高校生)



30mダッシュの様子



高校生が丁寧に指導してくれました



反復横跳びの様子



「がんばれ～」ペアが気合い注入！



恒例のリレー！4回行いました！



OBの羽入田氏、松浦氏、幡野氏

西桂町児童館事業

『おたのしみ会』～素敵なクリスマス～

- 日 時 12月25日(水) 13:30 ～ 15:30
 ○場 所 きずな未来館
 ○主催者 西桂町子育て支援課
 ○参加者 西桂小学校1～5年生
 ○SPゲスト 童話作家ひろみさん(富士河口湖町在住)
 ピアニスト武藤美佐さん(西桂町在住)

○内 容

- ・朗読、オリジナルしおり作り、簡単ケーキ作りと子どもが楽しめる内容が盛りだくさんでした。
- ・朗読は、ひろみ先生のオリジナル作品3本に、武藤さんの生の演奏で華を添えた超豪華な朗読会でした。
- ・しおり作りでは、短冊だけでなくハート型や丸形の台紙に、好きなシールを貼るなど、子どもたちの独創的なアイデア溢れる作品ができました。
- ・ケーキ作りでは、子育て支援課の先生方が焼いたパンケーキに、ホイップやチョコソースで飾り付け、オリジナルケーキを作って、みんなでおいしくいただきました。

○子どもたちの感想

「朗読の物語がすごくおもしろかった。」「クリスマスの歌と一緒に歌えて楽しかった。」「自分の好きなしおりを作れて楽しかった。たくさん本を読みたいです。」「ホイップを贅沢に使ったケーキを作れてとても嬉しかった。こんな経験なかなかできません!」

子どもたちの笑顔が絶えることのない、素敵な行事でした。冬休みの初日にとても良い思い出ができたのでは?



今日のために物語を書いてくれた
ひろみ先生



物語を彩る素晴らしい演奏を披露
してくれた武藤先生



朗読会の様子



「農鳥」のお話もありました!



子どもたちの聴く姿勢も素晴らし
かったです!



個性溢れる作品ができました!



「いただきま〜す」



みんな自作のケーキに夢中です(´▽`)

山梨ことぶき勸学院

活動実践全体発表会

- 日 時 1月28日(火) 9:20 ～ 12:00
 ○場 所 山梨県立文学館講堂
 ○内 容

- ・ことぶき勸学院生が、自主活動の時間で学んだことをパワーポイントなどにまとめて発表する会でした。
- ・南都留教室の2年生は「城下町都留の魅力―秋本氏が残したものの―」をテーマに地元の方も知らないような貴重な情報を紹介したり、北都留教室の2年生は「大月空襲について～平和な世界を願って～」をテーマに、なかなか手に入らない貴重な資料を扱ったりして、それぞれ長期間にわたり学習した成果を大いに発揮し、素晴らしい発表となりました。

○勸学院生の感想

「それぞれの教室で特色ある発表内容でした。皆さん素晴らしかったです。」(2年生)「分かりやすく、身近な事柄や地域の問題なので興味深く大変勉強になりました。来年は私たちの番です。今からドキドキです。ファイト!!」(1年生)



小幡先生と南都留教室の発表生徒



南都留教室の発表の様子



中込先生と北都留教室の発表生徒



北都留教室の発表の様子

北都留地区社会教育の会

『正月かざり作り教室』

○日 時 12月8日(日) 13:00 ~ 16:00

○場 所 ウェルネスパーク里山交流館

○主催者 北都留地区社会教育の会

○講 師 中山 勝文氏、井口 正道氏

○参加者 大月市内の小学生7名とその保護者

○内 容

- ・講師の指導の下、子どもたちがそれぞれの個性を生かした松飾りを製作しました。
- ・現代の子どもたちは、松飾りを目にする機会も少なく、ましてや自分で作ることはほとんど無いのでとても良い経験ができたようです。
- ・作業を通して、子どもと大人の方々のコミュニケーションが積極的に行われ、伝統や技術の継承の生の姿を目にすることができました。このような機会は時代が変わっても大切にしたいものです。

○感 想

「門松を飾る意味を始め、作り方まで丁寧に教えていただきました。また、とても大変な松や竹、南天などの材料の調達も、本当にありがとうございました。すごく楽しかったです。」「門松作りを通じて、他の小学生や大人の方々と交流できて、とても楽しめました。」(参加した小学生)



会場の様子



素敵な正月飾りができました！



指導していただいた先生方



みんなで記念撮影。「良いお年を！」

北都留地域教育推進連絡協議会 芸術文化推進事業

銘楽堂 presents クリスマスコンサート

○日 時 12月14日(土) 14:00 ~ 15:00

○場 所 大月市民会館3階講堂

○出演者

齋藤 華香(さいとう かこ)さん【フルート】

弓場友美子(ゆみば ゆみこ)さん【ヴァイオリン】

都築小百合(つづき さゆり)さん【ピアノ】

○参加者 北都留地区の小中学生や保護者など計64名

○内 容

ショパンの「子犬のワルツ」などのクラシック音楽はもちろん、Creepy Nutsの「Bling-bang-bang-born」などのヒット曲、そして赤鼻のトナカイなどを盛り込んだ「クリスマスメドレー」など、最初から最後まで聴衆を楽しませてくれる魅力たっぷりのプログラムとこれぞプロという素晴らしい演奏でした。

○感 想

「近くで聴けたり、楽器を見られたりしてよかったです。ダンスも踊れて楽しかったです。」(小学生)「プロの演奏を間近で聞く機会はあまりないのでとてもよかったです。」(保護者)「子どもと一緒に楽しむことができました。ぜいたくな時間をありがとうございました。」(保護者)



コンサートの様子



演者と観客のやりとりも！



素敵な音色に聞き入る観客の皆様

華やかな衣装と巧みな演奏で聴衆を楽しませた出演者の皆様(右写真)



吉田中学校 吉田西小での出前授業 ～中学校の授業体験～

○日 時 2月10日(月) 13:40 ～ 14:25

○場 所 吉田西小学校

○対 象 吉田西小6年1・2組

○講 師 吉田中教諭 渡辺光太郎先生(英) 上野裕子先生(数)

○内 容

- ・小6の児童に中学校の授業を体験してもらい、中学での学習にスムーズに移行することを目的とした出前授業でした。
- ・数学では、中学で学ぶ分野についての分かりやすい説明や「トランプを使って正の数と負の数について学ぶ」といった子どもたちに考えさせる授業が展開されました。
- ・英語では、I'm～やI can～を使って自分のGood Points(いいところ)を伝えたり、You're～やYou can～を使って友達のGood Pointsを伝えたり、活気のある授業が行われました。

○児童の感想

「自分のいいところを知る機会になったし、中学の英語は難しいと思っていたけど、先生が丁寧に教えてくれたので楽しく学べました」「緊張したけど、先生が優しく教えてくれたのでよかったです。中学で勉強する不安がなくなりました」



数学担当の上野裕子先生

英語担当の渡辺光太郎先生



絵文字に隠れた数学の記号は？

子どもが使える英語のフレーズ



児童の興味をひく工夫した教材

「いいところ」を英語で伝え合い

鳴沢村スポーツ協会『村民スキー教室』～村スキー部の教育支援活動～

○日 時 1月8日(水) 9:00 ～ 16:00

○場 所 ふじてんスノーリゾート

○主催者 鳴沢村スポーツ協会

○主管者 鳴沢村スキー部

○参加者 鳴沢村在住の小学生38名

○指導者 鳴沢村スキー部の公認指導員6名

○内 容

- ・ベテラン指導員のお話では、この教室は30年以上も継続されており、以前は1泊2日で志賀高原に行ったこともあるそうです。
- ・指導員のほとんどは仕事を休んで指導に来ていただきました。
- ・年1回実施しており、これとは別に鳴沢小学校では、小学校3年生から6年生まで年2回スキー教室を行っているそうです。みんなすぐに上手になるようです。

○感 想

「指導員の方が丁寧に指導してくれるのでどんどん滑れるようになりました！」(3年生)「友達と一緒にスキーができて楽しかったです。リフトに乗るのが楽しかった！」(5年生)「この教室でスキーを好きになってもらい、スキーの普及や振興につながってもらえると嬉しいです。」(指導員)

仕事の休みを取って地域の子どものために指導された方々の熱意に感動しました。「地域の子どもは地域で育てる」を具現化した心に残る取り組みでした！



晴天、富士山の麓、最高です！

丸一日手厚い指導が行われました



みんな楽しそう！

男子チームのお昼です！



最高の1日でした！

○日 時 1月14日(火) 16:30 ~ 17:30

○参加者 都留興譲館高校国際教養部5名
鹿児島県立大島高校英語部7名

○内 容

- ・インスタでの繋がりをきっかけにオンラインで交流会を行うことになりました。
- ・両校とも外国人観光客対象のボランティアをしていることから、それぞれの活動を発表し、成果や課題を共有したり、今後の取り組みを深めるための議論を行ったりしました。
- ・大島高校は主にクルーズ船の観光ボランティアについて発表し、英語のマップや商品 POP の活用など、さまざまな工夫を紹介しました。
- ・都留興譲館高校は、富士五湖地域での外国人対象の観光ボランティアについて発表し、多言語対応やコミュニケーションを円滑にするために作成したボードなどを紹介しました。

○感 想

「同様の活動をしている県外の学校と交流して、いい刺激になった。」「自分たちの活動を県外の ESS の皆さんに知ってもらえてよかった。」「たくさんの新しいアイデアを得られた。『多言語対応指差しコミュニケーションシート』はぜひ作りたい。」
一番印象に残ったのが、ともに「地域に貢献したい!」という言葉は何度も口にしていたことでした。地域の課題に目を向け、解決に向け実行し、よりよい解決に向けて県をまたいで交流する素晴らしい取り組みでした!



画面越しでも気持ちは通じます!



大島高校のプレゼン



都留興譲館高校のプレゼン



同志の友と熱く語りました!



実際に使った資料を提示。双方のアイデアに感嘆していました!



○日 時 1月21日(火) 13:50 ~ 15:25

○場 所 谷村第一小学校

○講 師 英語理数科2年生19名

○対 象 3年生48名(12名ずつの4班で活動)

○内 容

- ・高校生は「理数探究」という授業の探究活動の一環としての取り組みでした。これまでの英語学習で得た知識や、4月から研究してきたことを生かし出前授業を実践しました。
- ・各班の小学生が「英語でお買い物」「英語でフルーツバスケット」「英語クイズ」「英語でkaruta!!」の4つの授業をローテーションで受けました。
- ・本日の実践を振り返り、2月1日(土)に行われた「教育実践発表会」で発表し、探究学習が完成します。

○感 想

「高校生の教え方がとても上手で、4つの授業全部楽しかったです。」「今まで知らなかった英語を今日一日で覚えることができとても嬉しかったです。」(小学生)
「班によって活動の進み方が違い、時間の使い方がとても難しかった。でも自分たちが考えてきた授業を子どもたちが楽しんでくれてとても嬉しかったです。今日の実践を踏まえ、2月1日(土)にうぐいすホールで行われる教育実践公開発表会ではさらに良い研究内容を発表したいです。」



英語でお買い物の授業の様子



英語でフルーツバスケットの授業の様子



小学生も積極的に発言!



カルタでは白熱した戦いが!



合間は次に向けての打合せ



子どもたちに寄り添う姿が印象的です!

かえる組 かえる祭(フェス)～高校生たちの地域活動報告イベント～

○日 時 2月11日(火・祝) 10:00 ～ 15:00

○場 所 富士急百貨店Q-STA

○主催者 NPO法人『かえる舎』、かえる組

○内 容

・「かえる組」は富士吉田市の活性化に貢献したいという熱い想いをを持った高校生のボランティアグループです。

・この日のプログラムは以下の通りです。

- ① 開会式
- ② ワークショップタイム 「よしだのおばけ」製作
- ③ ラジオ公開収録 「かえる組」の活動についてトーク
- ④ 中学生との意見交換会
- ⑤ 閉会式

・「よしだのおばけワークショップ」では、中学生や小さな子どもたちを高校生がサポートし、富士吉田市の魅力をパーツに使用し、お化けのお面を作成しました。

・中学生との意見交換では、富士吉田市の魅力や課題、その解決策について、中高生からの視点での話し合いが行われました。最後はグループの代表(ほとんどが中学生!)が発表を行い、他グループの意見をうなずきながら聴いていました。

・上記のイベントの他にも、高校生の活動展示、みんなで描く黒板、かえる組が手作りしたすりだね入りのオリジナル「よしだのおにぎり」の無料配付なども行われました!

○感 想

「準備が大変だったけど、中学生の笑顔が見られてとても嬉しかったです」(よしだのおばけWS担当の高校生)「中学生が富士吉田市のことを活性化しようといういろいろ考えているのがすごいと思いました」(意見交換会担当の高校生)



開会式の様子



パーツはすべて高校生の手作り!



「お化けだぞ～」



富士吉田の未来は、...



かえる組の1年間の活動報告!



「よしだのおにぎり」の配付の様子



ラジオの公開収録の様子



活発な意見交換会でした!

大月キリストの教会幼稚園 作品展～子どもたちの個性の爆発!!～

○日 時 2月10日(月)～2月14日(金)

○場 所 大月キリストの教会幼稚園 2F広場

○内 容

・ゆり組(年長児)のテーマは『虹を超えて』。オオムラサキと妖精と恐竜たちが紡いだ世界を表現しました。

・また、ゆり組では大月市真木在住の陶芸家 小林民夫氏の指導の下、陶芸作品の製作にも取り組みました。ゴジラなど創造性豊かな作品が所狭しと並んでいました!

・さくら組(年中児)のテーマは『恐竜ごっこの世界』遊びながらイメージを膨らませ、その世界を創り出しました!

・つくし組(年少児)は、どんぐりバッグやくだもの、ミックスジュースなど、子どもたちが今まで楽しんできたものを展示しました! 日ごろから表現活動に取り組んできた成果が

この作品群に反映されています! 子どもの気持ちを尊重するという教育方針が形となって表れていました!



年少さんの作品群



年中さんの作品群



年長さんの作品群



こちらが白黒ゴジラ。クオリティが高い!

県立産業技術短期大学校(産短大)出前授業

～富士北稜高校&ひばりが丘高校～

富士北稜高校

○日 時 2月3日(月) 13:30 ～ 15:50

○場 所 富士北稜高校

○講 師 産短大 情報技術科 安本 岳志 先生

○参加者 電気情報系列2年生18名

○内 容

- ・前半は「IT系の仕事」をテーマに、現在の学びを将来の職業にどう生かせるかについてのお話がありました。
- ・後半は最先端の技術や機材を使ったネットワークの構築に関する実習が行われました。

○感 想

「IT系の仕事に関する最新の情報を知れたり、最先端の技術や機材を使った実習ができたり、普段の授業ではなかなか体験できないことができたので、すごく有意義な時間でした」



全体的様子



講師の安本 岳志先生



ルーターの説明をする安本先生



熱心に説明を聴く生徒

ひばりが丘高校

○日 時 2月19日(水) 13:00 ～ 14:50

○場 所 ひばりが丘高校

○講 師 産短大 観光ビジネス科 田代 明彦 先生

産短大 情報技術科 坂本 昭代 先生

○内 容

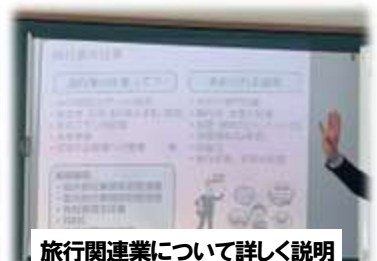
- ・田代先生からは、「観光業界を支える仕事」をテーマに、観光関連の多様な仕事についての詳しい解説や観光産業に従事する魅力や心得などをお話いただきました。
- ・坂本先生の授業では「コンピュータに関する仕事」をテーマに、ソフトウェア開発の仕事についての紹介やプログラミング体験が行われました。

○感 想

「1コマ目は、山梨の観光資源を題材に具体的なお話をしていただいたり、2コマ目では、初心者にもすぐできるプログラミング体験をしてくれたり、自分たちにとって分かりやすい授業を心がけていただいたのがすごく嬉しかったです。初めて知ることも多く、非常にためになりました。」



生徒に優しく語りかける田代先生



旅行関連業について詳しく説明



笑顔が素敵な坂本先生



プログラミングに取り組む生徒

ひばりが丘高校 教養講座 ～オニテナガエビの養殖に関わるベンチャー企業から学ぶ～

○日 時 2月14日(金) 13:50 ～ 15:25

○場 所 ひばりが丘高校視聴覚室

○講 師 株式会社『陸作』代表取締役 今村 秀樹 氏

○内 容

- ・現在は長年の夢を叶えて、甲斐市で『エビ釣りレストラン RIKUSAKU』を経営している今村秀樹氏による講演会でした。
- ・オニテナガエビの養殖は、温水の確保、エサの開発、共食い防止(特許取得)、エビの盗難対策など、多くの問題をクリアしなければならず、大変実現が難しいミッションでした。
- ・「夢を諦めず努力を惜しまなければ、必ず夢は実現する!」「今夢がないならまずは挑戦すること、とにかく動くこと!」という今村氏の熱い言葉が多くの生徒の心に響きました。



講師の話を真剣に聴く生徒



決して夢をあきらめない今村氏



想像以上に大きいエビでした



「今村さんのように失敗を恐れず挑戦します!頑張ります!」

・講演後は、自らが作り上げた“世界一のエビ”を生徒全員に振る舞い、その味でも生徒を感動させていました！

○感想

「普段食べているものがどれだけ研究され、時間と労力をかけて作られているのかを知り、命との向き合い方を改めて考え直そうと思いました。」「挑戦するのは怖いことですが、自信をつけるために少しずつ挑戦してみようと思いました。」

「先生の『目標があれば夢が、夢があれば目標が見つかる』という言葉が心に響きました。」



試食の準備をするスタッフ



「一生この味は忘れません！」

丹波小学校・中学校合同 味噌作り体験～地域の“先生”から学ぼう！～

○日 時 2月20日(木) 13:25 ～ 14:25

○場 所 丹波小学校

○参加者 丹波小学校11名 丹波中学校5名

○講 師 坂本 裕子(ゆうこ)先生

○内 容

・講師の坂本先生は地域おこし協力隊として、“発酵食品で地域おこし”をテーマに神奈川から移住してきた先生です。

・「丹波の大豆」を伝統農産物として地域で継承していきたいという思いで5年前より味噌作りを子どもたちに指導しています。

・今年は6月の豆まき、雑草取りなどの手入れ、12月の収穫、そして脱穀を経て本日を迎えました。

・この日は、小中学生を縦割りの班に編成し、①ゆでた大豆を潰す ②塩、麦麴、米麴を混ぜ合わせお団子を作る ③それを容器に投げ入れる という作業が行われました。

・本日作った味噌は1年間寝かせ来年度子どもたちに配付されます。

・本日は昨年作った味噌が配布され、子どもたちは思い思いのラベルを描き、世界に一つだけのオリジナル味噌を完成させました。

○感想

「大豆と麴などを混ぜて丸める作業が一番楽しかったです。これからもご指導よろしくお願いします！」(小学生)

「春から大豆について多くのことを学んできました。苗を植えるときの方向や雑草抜きのコツ、収穫するときの力加減など坂本さんが一つ一つ丁寧に教えてくださいました。味噌づくりを、大豆を育てることから中学生で学べるのはとても珍しいと聞きます。私は坂本さんに感謝しながら、貴重な経験ができたことを決して忘れないと思います。」(中学生)

地域人材の活用がうまく機能しているコミュニティスクール(CS)の先進的な取り組みでした。今後ますます重要性が高まるCSですが、ポイントとなる教育理念の共有やそのための人材登用など、CSを効果的に運用するための要素がたくさん詰まった素晴らしい行事でした。



発酵愛が止まらない坂本先生



踏んだり叩いたりして潰します



潰した大豆と麴を混ぜ合わせます



「お団子作るの楽しい〜！」



空気を抜くために投げ入れいす！



オリジナル味噌の完成！



丹波の大豆で作った味噌はサイコー！

1年間ご愛読いただき心より感謝申し上げます。富士・東部地域における地域教育の「縦の連携」「横の連携」の素晴らしい取り組みの数々いかがでしたでしょうか？「うちにはあんなことできない」「そんな連携をしている余裕がない」などやらない理由を見つけるより、どうすれば子ども達のために効率よく実施できるか、これらの事例を活用し、多くの団体で“連携”が今以上に進み、子どもたちの健全な育成に繋がっていただければと思います。富士・東部教育事務所の地域教育担当は連携のための“接着剤”としての役割もあります。「連携をしたいけど...」と二の足を踏まれているなら、ぜひお声がけください！皆様を全力でサポートいたします！来年度も引き続きよろしくお願いいたします。